

平成27年 **11月7日(土)** **入場無料**

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター 祝祭広場 および 中ホール

祝祭広場 10:00~13:00

消防・防災
フェスティバル



津消防タイムズ

第56号

発行 津市消防本部
〒514-1101
津市久居明神町
2276 番地

編集 消防総務課
企画調整担当
TEL 059-254-0353
FAX 059-256-7755

火災の問い合わせ
☎059-224-1881

三重県救急医療情報センター
コールセンター
☎059-256-1199

津市救急・健康相談
ダイヤル 24
☎0120-840-299

津市防火協会 開場：午前10時30分 開演：11時
『もしもに備えて』
フリーアナウンサー
生島ヒロシ氏 による記念講演


設立10周年記念講演会

中ホール 【↑↓それぞれに整理券が必要です】

津市消防音楽隊
創立40周年記念演奏会 ~TSU History of FIRE BAND 40th 40年の歩み~
賛助出演：三重県警察音楽隊

開場：午後1時 開演：午後1時30分

※天候などにより中止または内容を変更する場合があります。



↑生島ヒロシさんが講演

今年三本柱で開催

十一月七日に、三重県総合文化センターの祝祭広場と中ホールで、今年で四回目となる消防・防災フェスティバルを開催します。

平成十八年の新津市誕生と同時に設立された津市防火協会が十周年を迎え、また、「市民の皆様と消防を結ぶ音の架け橋」としておなじみの津市消防音楽隊が、十二月に創立四十周年を迎えます。今年はいくつかを記念し、会場を三重県総合文化センターに移して、三つのイベントを同時に開催することとしました。

屋外の祝祭広場で開催する消防・防災フェスティバルでは、様々な体験型イベントを実施しますが、今年新たに「ちびっこレスキュー」で救助を体験していただけます。

中ホールでは、津市防火協会の記念講演会で、防災士の資格を持つフリーアナウンサーの生島ヒロシさんが講師を務める「もしもに備えて」と題した講演会と、日頃から交流のある三重県警察音楽隊に賛助出演いただき「四十年の歩み」をテーマに津市消防音楽隊が記念演奏会を行います。

当日は、すべて無料ですが、中ホールで実施するイベントには、それぞれに整理券が必要になります。

十月十九日から消防総務課と中・北・久居・白山の消防署で配布しますので、皆さま、ご家族で、是非ご来場ください。

○整理券について

中ホールで開催する『津市防火協会設立10周年記念講演会』と『津市消防音楽隊創立40周年記念演奏会』には、それぞれに整理券が必要です。

10月19日(月)から消防総務課と中・北・久居・白山の各消防署で配布します。

初期消火で感謝状

(中消防署)

五月十七日の朝、新東町塔世で発生した建物火災において、初期消火活動を実施し、被害を最小限に食い止めた功労を称え、六月十五日、同町の横田一子さんと阿部あさこさん親子に宮田中消防署長から感謝状が贈られました。

火災発生時、阿部さん親子は、煙と住宅用火災警報器の音で火災を発見し、迅速な通報とともに、周囲に応援を呼びかけました。横田さんは阿部さんの火事を知らせる声を聞いて近所の方と共に駆けつけ、連携して消火活動を行いました。

阿部さんたちの円滑な初期消火活動により、消防車が到着した頃には鎮火状態となっており、建物にもほぼ被害がない状態で延焼を食い止めることができました。

阿部さんと横田さんは、「火元宅は一人暮らしということで、必死で消火活動を行いました。普段からの近所付き合いが大切と感じま

した」と話していました。

(森 良典)



↑→ 感謝状を受け取る横田さん(右)と阿部さん(左)



迅速な応急手当で社会復帰!

(北消防署)

六月十七日、北消防署で人命救助協力者に対し、竹村北消防署長から感謝状が贈られました。

表彰された方は、花木良さん、平野智啓さん、伊藤翼さんの三人。

三人は、四月十一日の午後九時頃、一身田上津部田のフィットネスクラブ内でトレーニン

グ中の二十七歳男性が急に意識を消失して倒れ、倒れた音に気付いた三人が協力して、一一九番通報と、胸骨圧迫及びAEDを使用し、救急隊が到着するまでに心拍を再開させました。傷病者は、一時的に入院しましたが、無事、社会復帰されました。

伊藤さんは、以前に受講した普通救命講習を思い出し『体が勝手に動いた』と話していました。

(大市 昌広)



↑→ 感謝状を受け取る3名(右から花木さん、平野さん、伊藤さん)



痛ましい事故を

風化させないため

(南分署)

五月十七日、高茶屋四丁目三重中央自動車学校で高茶屋地区安全フェスティバルが開催されました。

この催しは、十五年前に高茶屋地区で小学校一年生の男児と二年生の女児が三日の間に交通事故で亡くなり、このような痛ましい事故を二度と繰り返さない、そして風化させないという思いから、毎年開催されています。

今年も各種団体が協力する中、久居消防署、南分署及び消防団津方面団も参加し、防火、防災意識の向上の啓発を行いました。

(大野 学)



↑ 水消火器の使い方を指導

福祉施設で**夜間消防訓練を実施
(安濃分署)**

八月二十一日、安濃町田端上野の特別養護老人ホーム明合乃里で、夜間における防火管理体制の確認を目的に消防訓練を実施しました。

訓練は、多くの職員が帰宅した十九時に火災が発生したとの想定で始まり、当直の職員が入居者を効率よく避難させ、また帰宅した職員に招集連絡を行いました。自宅等で連絡を受けた職員は次々と参集し、避難誘導に加わりました。



↑ 入居者を効率よく避難

訓練に参加した職員は「夜間の限られた人数では、マニュアルに基づいて落ち着いて行動することが大切だと再認識しました」と話していました。

(高橋 直通)

外国人技能実習生を指導

(河芸分署)

五月十二日、河芸町浜田の河芸公民館で、津北商工会から外国人技能実習生に対する防火・防災講習の指導依頼があり、北消防署河芸分署の職員が指導者として参加しました。

火災を起こさないための火災予防の重要性と、実際に火災が起きた時のために、一一九番通報の要領と水消火器による初期消火訓練、また人命を救う第一歩の救命処置として、心肺蘇生法とAEDの取扱いを実施しました。

外国人技能実習生は熱心に、訓練に取り組んでいました。

(前川 寿宏)



↑ 初期消火訓練を実施

山岳訓練を実施

(美杉分署)

六月五日、美杉町川上地内にある修験業山と、六月十日、同町竹原地内にある高東山において、危険箇所や登山道の状況確認及び遭難事故等を防止するため、登山道の目印となるマーカーキングテープの設置や、山火事防止の立看板の設置を実施しました。

修験業山では、途中小雨になり、足もとの悪い中の訓練となりましたが、参加した隊員は、

「登山道の状況や危険な箇所が確認できた。今回のマーカーキングテープの設置で、少しでも安全に登山を楽しんでいただければ」と、話していました。

(崎 隆敏)



↑ 登山道を、隊列を組んで進む隊員

秋季火災予防運動

十一月九日から十五日までの一週間、全国的に火災予防運動が実施されます。

平成二十七年全国統一防火標語

無防備な

心に火災が

かくれんぼ

津市消防団 各地で訓練

消防署とともに地域の安全・安心を守る津市消防団は、市内に十方面団あり、方面団単位で訓練を実施し、災害対応力を高めています。

一志方面団総合水防訓練

(一志分署)

六月七日、一志町高野の市立高岡幼稚園・高野保育園園庭をメイン会場に、平成二十七年度津市一志地域総合水防工法訓練が実施されました。

土砂災害・全国統一防災訓練を兼ねて実施されたこの訓練は、集中豪雨により三重県下に大雨洪水警報が発令され、津市一志地域では、波瀬川が氾濫水域を越え、地域住民に避難勧告が発令されたとの想定で行われました。

参加者は、身近に起こりうる災害だと改めて認識し、真剣に訓練に取り組んでいました。

(前田 悠輔)



↑積み土のうによる水防工法

白山方面団夏期実践訓練

(白山消防署)

八月十六日、白山総合支所及び町内五箇所の山間地において遭難者捜索訓練を実施しました。

今回の訓練では、同時に遭難者が発生した想定で、方面団に配備されたデジタル無線機を活用した情報共有、報告要領の習熟及び通信可能範囲の把握を目的として実施しました。

また、白山総合支所では、団員の救護能力向上のため、救護

隊が指導者となって心肺蘇生法や骨折時の固定方法などの救急訓練を実施しました。白山地域では、毎年、山岳遭難事故が発生しているため、今後の災害発生時に活かすことが出来る有意義な訓練となりました。

(高岡 敦)



↑消防団デジタル無線を活用し、活動の情報共有

↓救護隊が指導者となって、救急訓練を実施



美里方面団夏期訓練

(美里分署)

六月七日、美里総合支所の駐車場で、美里方面団の夏期訓練を実施しました。

この訓練は、消防団員としての責務を自覚し、厳正な規律と、高度な消防技術を身につけることを目的に、毎年、実施されています。

参加した約百名の団員は、礼式訓練、機械器具点検、放水訓練を実施しました。

今年四月に入団した新人団員は、先輩団員から厳しく指導を受け、きびきびとした訓練を実施しました。(井土 浩之)



↑先輩団員から厳しく指導

ふれあいのかおり

渚のフェスティバル

(香良洲分遣所)

五月十七日、香良洲町高砂の香良洲公園において「ふれあいのかおり二〇一五渚のフェスティバル」が開催されました。

会場では潮干狩り、大道芸会、フラダンス、よさこい、ミニSL機関車試乗会等のイベントが催され、香良洲分遣所と香良洲方面団の女性消防団員で、ミニ救急車試乗体験や煙体験コーナーを実施しました。

会場ではたくさん親子連れや子供が元気いっぱい楽しんでいました。(奥田 仁)



↑香良洲方面団女性団員と連携し、啓発を実施

救助技術を披露

(警防室)

七月二十九日、梅雨が去り、透き通る夏空の下、第四十四回消防救助技術東海地区指導会が、鈴鹿市の三重県消防学校で開催されました。

津市消防本部から、引揚救助チーム(久居消防署)、障害突破チーム(中消防署西分署)の二チームが出場し、日頃の訓練の成果を大会本番にぶつけました。

引揚救助は二十五チーム中、二十位(タイム八十七秒三、減点二五点)、障害突破は二十チーム中、十二位(タイム百十四秒四、減点〇点)の結果となり、神戸市で行われる、第四十四回全国消防救助技術大会への出場は、残念ながら叶いませんですが、地区指導会までの研修期間に、日夜、研鑽・練磨した技術と経験は、必ずや今後の消防人生の糧になることでしょう。(岸田 龍也)



←引揚救助訓練の様子



↑ ↓ 障害突破訓練の様子

障害突破訓練

(西分署)

消防救助技術東海地区指導会の障害突破訓練に出場し、安全・確実・迅速性を競い合い、東海地区で二チームだけが出場できる全国大会出場を目指し、昨年度の冬場から体力錬成や空気呼吸器の着装訓練などを実施し、四月からは本格的に訓練塔を使用して、日々厳しい訓練に取り組んできました。

全国大会出場は叶いませんですが、訓練で培った技術・体力・精神力を生かし、これからも津市民の安全安心を守るため、日々訓練に打ち込みたいと思います。(山本 直紀)



見慣れた消防の服と違っぞ？

(久居消防署)

皆さんは危険物安全週間を知っていますか？

ガソリンなどの石油類をはじめとする危険物を貯蔵、取り扱う事業所での保安体制の確立を呼び掛けたり、市民の皆さんに危険物に対する正しい認識と理解をしていただこうとする週間です。(ちなみに平成二十七年は六月七日〜六月十三日でした。)

危険物の場合は一般の火災と違い、泡で油などの危険物を覆って消火したりしますが、その時に消防隊が着る服装も変わります。

左の写真は「耐熱服」と言います。



化学工場や製油所等の危険物施設で発生した火災の輻射熱から、隊員の身体を防護することを目的としているもので、空気呼吸器も内蔵できる構造となっています。(増田 裕彦)

消火栓を知っていますか？

(芸濃分署)

消火栓とは、火災現場で消火活動をするときに、必要な水を供給するための設備です。

道を歩いていて、黄色い枠に四角や丸形で鉄の蓋があるマンホールのようなものを見たことはないでしょうか。近くに赤い標識が立っていることもあります。

この消火栓は、各家庭に供給されている上水道の配管と直接つながっています。つまり、消火栓を使って放水される水は、家庭の蛇口から出る水道水と同じ水です。

火事するときにはこの消火栓から水を取り、消火に使います。そのため、いざというときにスムーズに水を出せるように、毎年、消火栓を順番に回っ



て点検しています。

消火活動時にとっても重要な消火栓ですので、消火栓の上や近くに車を停めたり、障害物を置いたりしないように協力ををお願いします。(田村 公一)



↑一つ一つ、消火栓を確認！

夏バテ知らず牛スジカレー

(久居消防署)

災害出動に備え早く作れる、早く食べられるなど、全国の消防署で工夫されているのが、いわゆる「消防飯」です。

今年も暑い日が続き、食欲がわかない方に必見、今回は久居消防署の消防飯、牛スジカレーを紹介します。

用意するのは牛スジ肉四キログラム、米四升、ジャガイモ、人参、玉ネギなどなどで約四十人分ができます。お好みで夏野菜をトッピングしても美味しいですよ。

牛スジの旨味・甘味が出て食が進み夏バテ知らず、皆様のご家庭でもいかがでしょうか。

(増田 裕彦)



→牛スジ4kgのアクを丁寧に取ります。

↓牛スジカレーの完成♪



四十周年記念演奏会に

向けて猛特訓中!

(消防音楽隊)

十一月七日の十三時三十分から三重県総合文化センター中ホールで開催します「津市消防音楽隊創立四十周年記念演奏会」に向けて、今年四月に入隊した新人音楽隊員四名が、先輩隊員に追いつけとばかりに、複雑怪奇なおタマジャクシと奮闘中です。

初めての大きなステージに緊張するかもしれませんが、いつかは消防音楽隊の主力となる隊員です。暖かい声援をお願いします。

(野田 巧)



【隊員紹介】写真右から
小宮消防士 (中消防署・トロンボーン)
藤原消防士 (中消防署・トランペット)
倉田消防士 (北消防署・パーカッション)
大浦消防士 (久居消防署・クラリネット)

病院・診療所等の細分化

(消防安全課)

平成二十八年四月一日から、病院・診療所等が消防関係法令上で四つに細分化されます。

きっかけとなったのは、平成二十五年十月十一日に福岡市で発生した有床診療所火災です。この火災では、入院患者や職員の多くが死傷しました。

この火災を受け、総務省消防庁では病院・診療所等で類似の火災の発生を防止するために、火災被害拡大防止対策及び火災予防行政の実効性向上等に関する検討を行い、防火対策の強化を図るため法令改正を行いました。

来年度からの細分化に向けて消防署では、消防署員が市内の病院・診療所等に対して、病床数、診療科目、昼夜の職員数等を基に、細分化後のどの項目に該当するかを事前調査しました。

これからも消防署では、法改正に確実に対応してもらおうため、防火対象物の関係者に対し、積極的な指導を行っていきます。

(笹之内 康英)



簡易宿所への立入検査

(消防安全課)

今年、五月十七日に神奈川県川崎市で発生した簡易宿所の火災では、多くの犠牲者が出ました。

この火災を受けて、全国的に※簡易宿所への立入検査が実施されるなか、津市消防も市内の簡易宿所に対し、緊急の立入検査を実施しました。

市内で登録されている簡易宿所は十ヶ所で、川崎市のよう

なホテルタイプとは違い、キャンプ場に設置されているコテージや農家民宿といったものです。

また、川崎市で発生した火災では、建築基準法や旅館業法に基づくと不備についても疑われたことから、市建築指導課及び三重県津保健所と合同で立入検査を実施しました。今回の立入検査では、誘導灯の不備等がありました。それぞれの部局が連携しながら効果的な指導をしました。

皆様も、旅行や出張等で宿泊施設を利用される時は、避難経路を確認するなど、有事に備えるため、高い安全意識を持って利用して下さい。

(笹之内 康英)

※ 簡易宿所とは、旅館業法に基づき都道府県知事の許可を受けた者が営業するもので、宿泊する場所を複数人で共用する構造及び設備を主とする施設を設け、宿泊料を受けて、人を宿泊させる施設のことで、下宿以外のもを言います。

平成二十七年上半期の 火災・救急・救助概況

【火災】出火原因一位は「たき火」

上半期に発生した火災は七十一件で、昨年同時期と比較すると一件減少し、建物火災は九件増加しましたが、林野火災は十二件減少しました。出火の原因の一位は「たき火(十八%)」で、火が周囲の枯れ草や可燃物に燃え移って、火災に至っています。風の強いときや空気が乾燥しているときには、火の取り扱いに十分注意しましょう。

| 区分 | 平成27年 上半期 | 平成26年 上半期 | 増減 | |
|-------------|--------------|--------------|----|-----|
| 火災件数合計(件) | 71 | 72 | ▲1 | |
| 火災種別 (件) | 建物火災 | 37 | 28 | 9 |
| | うち住宅火災 | 19 | 10 | 9 |
| | 林野火災 | 2 | 14 | ▲12 |
| | 車両火災 | 10 | 3 | 7 |
| | 船舶火災 | 0 | 0 | 0 |
| | その他の火災 | 22 | 27 | ▲5 |
| 死者(人) | 2 | 2 | 0 | |
| 負傷者(人) | 9 | 7 | 2 | |

▲は減を示す

【救急】軽症患者が 全体の約五十%超え

上半期に発生した救急出動件数は七千件でした。事故種別では急病が四千四百二十二件と最も多く、全体の約六十三%を占め、次いで一般負傷が千九十三件(約十六%)、交通事故が六百二十三件(約九%)でした。昨年同時期と比較すると、出動件数は十八件減少し、搬送人員は三十四人増加しました。また、救急出動全体の約五十%が軽症患者でした。軽いけがや病氣(擦り傷、歯痛、風邪など)の場合などは、家用車やタクシーなどでかかりつけの病院へ行きましょう。それが、本当に救急車を必要としている人の貴重な命を救うことになり救急車の適正利用に御協力をお願いします。

| 区分 | 平成27年 上半期 | 平成26年 上半期 | 増減 | |
|-----------------|--------------|--------------|-------|-----|
| 出動件数 | 7,010 | 7,028 | ▲18 | |
| 搬送件数 | 6,367 | 6,337 | 30 | |
| 搬送人員(人) | 6,457 | 6,423 | 34 | |
| 主事故種別 (出動件数) | 急病 | 4,422 | 4,409 | 13 |
| | 一般負傷 | 1,093 | 1,054 | 39 |
| | 交通事故 | 623 | 646 | ▲23 |

▲は減を示す

【救助】交通事故による 救助出動が最多

上半期の救助件数は四十五件でした。そのうち、交通事故が二十六件で全体の約五十七%を占め、次いで建物等による事故が六件、水難事故四件、機械による事故二件、火災一件でした。出動件数四十五件のうち、現場で活動した件数は二十九件で、三十一人を救助しました。活動件数に入っていない十六件については、救助隊が到着するまでに自力で脱出したものや、付近住民などによって救出されたものです。行楽シーズンは、車で遠方へ出かけることが増える時期です。交通事故には十分注意しましょう。

| 区分 | 平成27年 上半期 | 平成26年 上半期 | 増減 | |
|-----------------|--------------|--------------|-----|----|
| 出動件数 | 45 | 61 | ▲16 | |
| 活動件数 | 29 | 40 | ▲11 | |
| 救助人員(人) | 31 | 39 | ▲8 | |
| 主事故種別 (出動件数) | 交通事故 | 26 | 35 | ▲9 |
| | 水難事故 | 4 | 7 | ▲3 |
| | 建物等による事故 | 6 | 5 | 1 |
| | 火災 | 1 | 4 | ▲3 |

▲は減を示す

★ 主な行事予定 ★

- ◆十一月七日(土)
消防・防災フェスティバル
津市防火協会
設立十周年記念講演会
津市消防音楽隊
創立四十周年記念演奏会
(三重県総合文化センター中ホールほか)
- ◆十一月二十二日(月・祝)
平成二十七年津市総合防災訓練
(河芸第二グラウンド)
- ◆平成二十八年一月十日(日)
津市消防出初式
(香良洲グラウンド)

編集後記

九月十日、東海地方を縦断して日本海に抜けたあと、温帯低気圧となった台風十八号の影響で、遠く離れた関東地方では記録的な豪雨となり、茨城県と栃木県で大雨特別警報が発令され、浸水被害や土砂崩れなどが多数発生しました。なかでも茨城県常総市では、鬼怒川の堤防が決壊し、住宅が流され、屋根や電柱に登って助けを求めた人がたくさんテレビに映し出されました。台風十八号による浜松市や県内の被害を上回る大きな災害を目の当たりにし、大雨の恐ろしさを改めて認識しました。(宮田)